

就 任 の こ と ば

茨城県総務部長
茨城県統計協会長

木 村 凡 夫

今回、はからずも茨城県総務部長を拝命するとともに、茨城県統計協会々則の定めるところにより、本協会々長に就任致しましたので、誌上から関係各位に御挨拶申し上げます。

七月二十四日退任されました本協会々長であつた細田前総務部長の主導のもとに、本県調査統計も大きな進歩を遂げ、全国に冠たる成績を残されましたことは、一に各位の御協力の賜とここに改めて深甚の敬意を表する次第であります。

昔から「統計は政治、行政に左右されずに政治、行政のための羅針盤となる基礎資料として最も重要なものである」とは、いわれておるが、過去の日本においては、合理的精神に乏しく、兎角統計が軽視され勝ちでありまして、その結果が敗戦の悲惨事を招いたというも過言でないともいわれておるのであります。

戦後におきましては、わが国の統計も米国の指導と相まつて、その重要性の認識が深まり中央、地方を通じて統計機構の整備と関係各位の携まざる努力と御協力とによつて異常な発展を遂げ国際的水準にまで達するようになったことは御同慶に堪えないところであります。

政治、行政を左右する、その統計の生命とする真実性、信憑性について考えてみますと、これを作る人、これに協力する人が充分に理解し誠意と責任とをもつてあたらなければ、立派な結果が得られないわけでありまして、いわゆるよい統計は統計思想の普及発達がなくては生れないといわなければなりません。

又立派に作られた統計は社会生活に直接役立つことによつて、はじめてその真価が認められるものであり、これには県民一人一人の日常生活にまで統計利用の習慣が滲透するよう努めなければならぬと存じます。

この意味において一層関係者各位の旧に倍する御支援と御協力ををお願いして、調査統計事業の推進を図り統計の普及と活用とを旨として邁進いたしたいと存じます。

各位の御健康と御多幸をお祈りして就任の御挨拶といたします。



離任のこゝば

前茨城県総務部長
前茨城県統計協会々長

細田 武

今回はからずも、茨城県信用農業協同組合連合会々長に推され、七月二十四日、総務部長を辞任するとともに、統計協会々長を離任すること

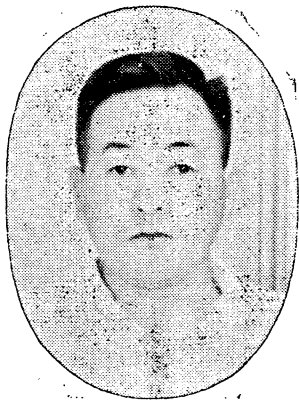
になりましたので誌上を通じ関係各位に一言御挨拶申し上げます。

顧りみますると、昭和二十三年五月、茨城県総務部長に補せられるとともに、茨城県統計協会々長に就任いたしましたのでありますが、逐年本県調査統計事業も大きな進歩を遂げ、全国有数の好成績を挙げており、又一面統計協会も順調な発展を見ておりますことは、一に各位の御協力と御支援の賜と、こゝにあらためて深甚の謝意を表する次第であります。

わが国の調査統計事業も、戦後著しく、発達し世界的水準にまで達するようになったことは、各位とともに御同慶に堪えないところでありますがよい政治が行われるためには、為政者は勿論一般国民が科学的、合理的精神に培われ、統計そのものを、充分に理解することにあると思われるが、わが国民の統計常識が未だ普遍化せず極めて低位にあることは遺憾に堪えないところであります。このたび統計を作る立場から、利用する立場となり、統計作成の協力者としての立場となつたのでありますが、今後におきましても、平素輕視勝ちの利用者側に対して統計の利用と活用等について、たえず啓蒙の機会をとらえ、統計思想の普及に協力いたし、もつて過去の御厚意に対し、お酬いいたしたいと念じておる次第であります。

今後ますます調査統計事業も複雑多岐にわたり、関係各位の御労苦も一入のことゝ存ぜられますが、わが国統計界のため、尙一層の御努力と御協力をお願いする次第であります。

各位の御健康と御発展とお祈りして離任の御挨拶といたします。



離任にあたって

前茨城県総務部調査課長
前茨城県統計協会副会長
茨城県知事室生活科学課長
兼科学技術研究所生活科学班長

村田 眞 道

今回の県庁人事の異動によつてはからずも、生活科学課長に転じ、調査課長ならびに県統計協会副会長を離任いたすこととなりましたので情

熱を傾け、互に協力し合つて苦勞を共にした親しみ深い関係各位に誌上から御挨拶申し上げます。

顧りみますと、昭和二十二年六月調査課長を命ぜられ、同時、県統計協会副会長に就任したのでありますが、以来満七年一ヶ月、その間大過なく、榮ある調査統計事業の推進と発展に寄与し得ましたことは、これ一に関係各位の御支援と御協力の賜でありまして、こゝに改めて、深甚の感謝の意を表する次第であります。

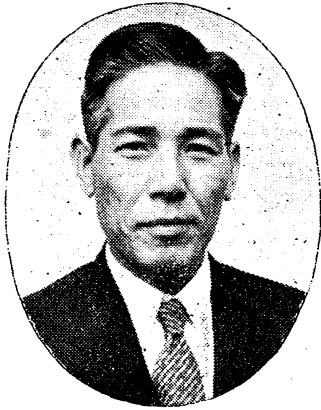
私の就任した当時は戦後の、おちつきもなく、占領下であり、わが国の統計も幼稚であり、重要性の認識も欠けていたことが、ライス博士の來朝によつて指摘され、中央、地方を通じて、急激に、機構が拡充強化され統計の重要性が認識されるようになり、本県においても、全国に魁けて、昭和二十三年七月地方事務所に調査室を設け、更に、昭和二十五年九月に調査課に昇格せしめる等、統計機構は益々拡充、強化の一途を辿り、私が皆様とともに、全精魂を傾注して、然も、愉快に事業の向上、発展を図り得られましたことは、公私ともに皆様から与えられた御協力の結果でありまして感謝の外はないのであります。

又特に私の終生思い出深いものは、一九五〇年世界センサスを記念し、全国に魁けて、その類のない、統計の殿堂である統計館の建設でありました。この建設に対し関係各位の心からなる御協力を頂きましたことは、深く感激しておる次第であります。

逐年ますます統計は重要性を加え、これが利用度も高くなりつゝある時、各位には、利用者の立場になつて益々立派な統計の作成に邁進されんことをお願いするとともに、私も事業の関係上最も関係深い、生活科学課長でありますので、将来とも旧に倍する御愛顧御協力をお願いする次第であります。

ここに先輩の業を継いで、私の時代に復刊した懐かしい茨城調査時報を通じて御挨拶を申し上げることが出来ますことは、非常なよろこびであります。

最後に先輩及び関係者各位の御健康を祈り、新進有能な柏原課長を中心として益々調査統計事業の繁榮されることを念じて御挨拶といたします。



就任にあたって

茨城県総務部調査課長
茨城県統計協会副会長

柏原 誠

先般の人事異動によつて、はからずも調査課長を命ぜられるとともに茨城県統計協会々則の定めるところにより本協会副会長に就任いたすこととなりましたことは誠に光榮に存ずるところであり、その責務の重且

つ大であることを痛感するものであります。

もとより統計につきましては全くの素人である私ではありますが、前任者の偉大なる努力により築かれた基礎を一層鞏固たらしめ皆様とともに新しい興味と熱意をもつて精魂を打ち込みたいと存じますので、何卒御指導と御鞭撻をお願いする次第であります。

近年ますます統計の重要性が叫ばれ、統計技術も非常な進歩を遂げており特に本県の統計は皆さまの御努力と御協力により年々立派な成績をあげ調査茨城の真髓を発揮しておりますことは御同慶に堪えないところであります。

然るに、この努力と協力の結集によつて得られた統計が、政治、行政、経済、文化、社会等あらゆる分野における諸施策の基礎資料として十二分に活用されているかどうかであります。統計はただ結果を得るだけではその目的を達したということではできないものであり、その結果を社会生活に反映せしめることが窮極の目的であると思います。従つていわゆる集積された統計を、為政者が政治に、企業者が経営に十二分に、利用し活用することにあると思うのであります。然しながらこれが、充分でなかつたことは、結果の公表が、迅速性を欠いていたことも考えられますが、何よりも統計が大衆化され、日常生活の指針として、利用されるように徹底されていないことにあると考えられますので、統計思想の普及には、格段の意を用い、機会あるごとに、これが滲透を期して、統計のもつ、本来の意義に合致さすべきだと思ふのであります。

この観点から私は今後統計従事者の一人として、これが一層の推進を図り、統計の普及と活用を旨として邁進し、本県統計行政の発展に、ひいては、県民の繁榮のために微力ながらも、精魂を傾注致したいと存ずるものであります。よろしく積極的な御協力と御援助をお願い致します。

最後に関係者の皆さま方の御健康と御発展をお祈りして御挨拶といたします。